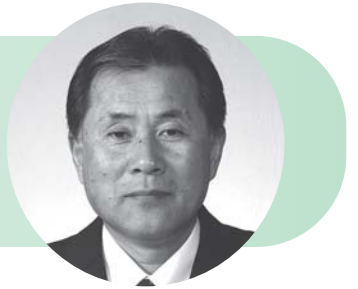


佐藤 高 清 議員



行政事務の効率化、スピード化について聞く

問

行政事務の効率化、スピード化について聞く。

- (1) 現在までの取り組み状況、成果
- (2) 電子決裁システムを導入してはどうか。
- (3) 文書、条例、規則、業務マニュアルをデータベイス化してはどうか。
- (4) 市民に少しでも早く決算報告する努力が必要ではないか。

給食業務の民間委託等を行った

答 総務課長

- (1) 効率化については、①市広報の編集委託の取りやめ②給食調理業務の民間委託③再雇用嘱託職員・臨時職員の活用④投票所の統廃

合などに取り組んだ。

スピード化は、従来からさまざまな業務で電子化を推進している。

- また20年度から(組織の)係制をグループ制に変更し、決裁過程を簡易化した。
- (2) システム導入に多額の費用が発生するので、費用対効果も勘案して検討していきたい。
- (3) 職員には一人一台パソコンを配置し、条例、規則が検索できる。

事務マニュアルで可能なものは(パソコン経由で)共有し、いつでも閲覧できるように努めている。

- (4) 決算概要は11月に広報、ホームページで公表している。

この時期を今後早めるよう努めていきたい。

消防団再編はどんな見通しか

問

消防団の再編を尋ねる。

- (1) 再編が20年度から先送りになっている。
- どのような見通しになっているのか。
- (2) 知識や経験のあるOBが加わった部隊、女性分団、機能別団員の新設など新しい取り組みについてどのように考えるか。

20↓16分団への改正案を協議中

答 防災安全課長

- (1) 各小学校校区2分団を基本とし、人口の多い桜学区と管轄面積が広い栄南学区は3分団。現在の20分団を16分団に改正する案を示し、進めてきた。

具体的には、十四山

地区8分団を4分団にするものである。

8月28日に十四山地区の区長会で説明したが、現在まだ合意に至っていない。今後も地区をまとめてもらうよう努力していく。

- (2) OB、女性分団については考えていない。
- 水害、火災時のみ出動する機能別団員は、今後の検討課題としたい。



▶ 1月に行われた消防団出初式